

## 海外安全対策情報（2020年7月～9月）

### 1 社会・治安情勢

#### (1) 犯罪発生状況

当地の公的機関は詳細な犯罪発生件数等を公表していないため、正確な犯罪発生状況を把握することはできないものの、当地内務大臣のコメントによると、盗難（空き巣、車上荒らし）や詐欺（高利率の投資名目、土地利用や資金移動に関する偽造文書を用いたもの）など、金銭等に絡む犯罪が増加傾向にあるとのことであり、注意が必要である。

その他の粗暴犯罪（殺人、傷害、暴行等）についても一定の割合で発生しており、あわせて注意が必要である。

#### (2) テロ・誘拐事件等発生状況

2005年のアンディジャン騒擾事件以来、公共の安全を脅かす大規模事件の発生はないものの、本年7月から8月にかけて、戦闘員をリクルートしていた地下組織が数件摘発されるなど、以前として活動が行われている状況がある。

外国人を狙った誘拐事件等の発生はない。

#### (3) ベラルーシにおける騒乱による影響

なし

#### (4) ナゴルノカラバフ紛争による影響

なし

#### (5) キルギスにおける騒乱による影響

なし

### 2 新型コロナウイルス感染拡大状況

(1) 3月15日に初の感染例が確認されて以降、10月15日現在で合計62371名（死者518名）の感染が確認されている。

(2) 1日あたりの感染者数については300人前後で推移するなど、感染拡大が続いており、注意が必要である。

### 3 医療体制

日本国内と比較すると非常に脆弱であり、新型コロナウイルスを含め、重症化した際に十分な治療が受けられない可能性があるため、注意が必要である。

### 4 交通安全事情

(1) 朝夕の通勤退勤時間帯などの車両が多い中でも猛スピードで無理な追い越しをするなど交通マナーが悪いので、歩行中及び運転中を問わず交通事故には細心の注意を払う必要がある。

(2) 当地内務大臣は、「交通事故発生件数は減少しているものの、死傷者数は高い水準を保っており、運転者や歩行者に対する注意喚起を継続して実施していく。」とコメントしており、重大事故の抑止が課題となっている。

### 5 邦人が被害者となった事件・事故等

なし